

ワイズとYMCA、今後への期待

—ワイズとYMCAの協力関係—

2017年2月5日

第2回東西日本区交流会

ワイズメンズクラブ国際協会

全体的傾向

- 世界3万人のワイズの70%がアジア太平洋地域にある3つのエリアにある。
- Y's Men's ClubとYMCAの関係は、地域により、個々のクラブで、それぞれの関係者の意識によりさまざま
- 世界の中でアジアエリアが最もその関係を築いていると思われる。その中でも日本は、規模の大きい中では、人的交流や協力関係において最も良好な関係を維持している。

国際大会2016での話し合い

3つの質問(Y's MenとYMCAとの関係)

- 1) パートナーシップの良い事例は？
- 2) パートナーシップへの共通する問題点？
- 3) 今後の工夫として何が必要か？

1 良い事例

- 1) YMCAの地域活動応援のための資金協力
- 2) ASFを使って、YMCAのスタッフを研修へ
- 3) YMCAの行うユースプログラムを協働で

2 共通する問題点

- 1) ワイズからの支援があってもYMCA側にはあまり認識がない
- 2) 担当主事が次々と交代してつながりが薄くなる
- 3) YMCAの役員や委員がワイズにいたが、少なくなっている
- 4) YMCAにワイズが手伝うようなプログラムがない(地域活動など)

3 今後への工夫

- 1) Y と Y's が、何を一緒にできるか話し合いや共に学ぶ研修を協働で行う
- 2) チェンジエージェントなど卒業後の人材のためのフォローアップを協働で行う
- 3) 担当/連絡主事の役割を重視し、関係を長く保つ工夫をしていく(可能ならシニアスタッフと)

関係を考えるいくつかの視点

- YMCAがワイズに応援してもらっているという意識がYMCAに薄いのでは？
- YMCAはこうあるべきと決めつけるワイズ。ワイズが何をしているのかわからないYMCA
⇒相互のコミュニケーション不足が原因？
- 相互のコミュニケーション改善のため、ワイズやYMCAのトップリーダーが、それぞれの意識を分かち合う場が必要
- YMCA の中にワイズが関心を持ち、応援したくなるような活動が実際にあるのか？

関係強化のための提案事項

- 各レベル(区、部、個別クラブ)ごとに、YMCAとワイズのリーダーが研修をし、その年度の協働事業を組み立てる。
- YMCAは、徐々にプログラムの受託が増え、職員中心で運営している。共通する地域の課題について調べ、共にできること、あるいはユースができることを新たに生み出していく。
- 2022年にワイズ発足から100周年を迎える。それまでにワイズとYMCAの関係、協働事業を検討し、世界各地で実施できるようにする。

協力して行う活動を生み出す例

区レベル(同盟と)

- TOF プロジェクトや環境プロジェクトなどYMCAとワイズが国レベルで協働して実行する。

部レベル(地区にあるYMCAと)

- カンボジア、モンゴル、ラオスなどYMCA支援のための協働ワークショップや協力プロジェクトを実施する。

ローカルYMCAと個別ワイズのレベル

- 新しい地域活動を協働で探り、生み出す(若者たちと地球市民活動など実施する。

YMCAとワイズメン トップリーダーシップの話し合い

- － 意味ある地域貢献活動やワイズが応援したいと思うような活動を支援することが、ワイズの喜びであり、ワイズの魅力となる。
- － リーダー、会員活動、ワイズが会員運動の主役。その人たちに、YMCA理解を深める教育の機会を意図的に作ることが大切。
- － 若いスタッフをワイズに入れて、理解、感謝、ともに働き考える体験くを持てるように。
- － パートナーシップの原則は、ローカルのYMCAとその地域のワイズの協働を進めるために大切。
- － 運動体としてのYMCAの活動を強化するために応援団を育てる。イベントを双方でおこなうことが、YMCAの強化につながる。その結果としてワイズのEMCにつながる。

今後の取り組みについて(案)

- 2022年のワイズ100周年までにパートナーシップ強化を世界中で行われるように、まず日本からそのモデルをつくる。
- 特別委員会を設け、年に2回、東と西で委員会を開催し、その結果を、ワイズとYMCAのトップリーダーシップに報告をする。
(年1回)
- 特別委員会の構成メンバーは、東西ワイズから5名程度、YMCA総主事会議メンバー代表2名、同盟スタッフ数名、およびリエゾンパーソンとして2名(うち一人は山田)で約10名とする。委員は継続して2022年までかかわれるようにする。
- 委員は計画を作るだけでなく、その実施状況を見守り、必要に応じたアクションを起こす。
- ワイズ、YMCA双方で検討し、6月末までに結論を出す。